

町民の声内容（9月18日）

【タイトル】 グラウンドホッケー場建設に係る件

先日の質問に対して回答を頂きましたが、納得いくものではなく再度質問させていただきます。

質問 1、

「住民投票実施請求」を却下された理由が、「町政全体に関する重要事項ではない」との事ですが、これから長年にわたって続くホッケー場建設の為の特例債の償還・ホッケー場の維持管理費は町財政からの負担であり、町民グラウンドの利用が出来なくなるなど、町民の負担・制約が多くなります。

八頭町ホームページの中にも「これからの八頭町の町財政は、地方交付税減少・町税収入減少などによりさらに厳しい状況にある」とあります。過去、現在と八頭町の人口は確実に減少しており、将来も減少し続ける状況にあり、一人当たりの負担割合は増加するものと思われる。

このような中、ホッケー場建設事業が、『町政全体に関する重要事項』ではないのか。将来にわたって町民の多くが望んでいない多額の負担を強いられようとしている事業が、強引に為されようとしている。それを「重要事項」ではないと誰が、どういう視点で判断しているのかお聞きしたい。それとも、町民の真の声を聴くのが怖いのか？町民を無視しているのか？

質問 2、

県からの補助金1億円。と説明会で明言されたとの事ですが、1億円の金額が確定しているのですか？「オリンピックのキャンプ誘致として応分の応援」と知事は答えられたのではないですか？オリンピックキャンプが頓挫した今、1億円の補助金がでるのですか？県議会で補助金予算案は提案承認されているのですか？根拠のない言葉で町民を愚弄し、町民に嘘の説明をされたのですか？

先日、島根県知事が国体招致をされましたが、鳥取に国体が来るのは10年・15年以上先です、開催が決まってからでも十分間に合います、又、県立グラウンドホッケー場として県に整備して貰えば、八頭町民の維持管理費の負担もない。

なぜ今？ 町民・議会を惑わすような説明をして強行しなければならないのか？

「1億円の補助金」が確定していない時点での町議会・説明会での発言であるなら行政のやり方は詐欺行為ではありませんか？ もしそうなら町議会での決議は無効です。設計調査費についても返還されるべきだと思うのですが・・・

質問 3、

小学校のホッケークラブは、学校の部活ではなく、スポーツ少年団と認識していますが、如何でしょう。八頭町内の各少年野球チームも同じだと思っています。

では、八頭中学校の生徒数はいくらであり、各スポーツ系部活動には何人おられ、ホッケー一部には何人の部員が加入しているのか？ 文科系部活動には何人の部員が加入しているのか？

すべての子供たちにも将来と、大きな可能性があると思いますが、その可能性を伸ばしていただけるだけの環境が揃っているのでしょうか？ 皆が十分ではない中で頑張っているのではないのでしょうか。今まで、中学卒業後、高校生となってから、何割の子がホッケーを続けているのでしょうか？ 過去、オリンピックで活躍された選手方もその中で鍛錬されたのではないのでしょうか。オリンピックで活躍された3人は八頭高出身であります、八頭町出身者は1人だと思います。

社会人となってホッケーを続けておられる方はどれくらいおられるのでしょうか？生涯スポーツとしておられるのでしょうか？

「腰を曲げ身体にはよくない」と聞いた事がありますが。(あるOBの話です。)

何故、ホッケー部だけが特別扱いなのか？

質問 4、

60年国体で旧郡家町がホッケー会場になった。だから「ホッケーの町」、だから「ホッケー場を作る」。

60年国体では旧郡家町は軟式野球の会場でもありました。どちらが観客は多かったでしょう。軟式野球にも鳥取県選抜チームが活躍されました。

60年国体に合わせ郡家球場も整備されたと記憶しています。内野はきめの細かい綺麗な黒土で外野はきれいに整備されていました。野球をしていた子供達もたくさん甲子園に出場したり、八頭中時代に日本選抜チームに選抜されアメリカで開催された世界大会で活躍したり、ノンプロで現在も活躍しておられる選手がいたり、多くの野球選手が輩出されてきています。

現在の郡家球場はどうなっているのかと、先日見てきました。内野には変な芝を貼り、外野は雑草が繁り、剥げており、ガタガタでとても公式試合どころか社会人草野球の出来る状況ではなく残念な環境でした。

5年・10年後のグラウンドホッケー場の姿と重なりとても悲しくなりました。これが八頭町かと・・・

ホッケー部以外の部活動の環境はどうでもよいのか？

他の部活を一生懸命している子供達は、どうでもいいのですか？

多くの可能性ある子供たちの事は？

質問 5、

ホッケー場整備により大会誘致・交流事業拡大・移住・定住人口増加につながると回答がありますが、そうなったらいいなあと思っているだけではありませんか？ただのタラ話。具体的な施策があるのですか？例えば宿泊施設・トレーニング施設・トレーニング設備・交通環境・受け入れ態勢・・・など、どうする計画ですか？他に、誇れる町・魅力ある町にならなければいけないように思います。

ホッケー場整備の外には、「移住・定住人口増加」・「賑わいと元気のあるまちづくり」の方策・施策は何もないのですか？

数年前の町民のアンケート結果を視れば、人口減少の中、生産年齢人口の3割ぐらいの人が町外転出を考えている様に記憶していますが・・・

質問 6、要望

現在の八頭町の人口構成を見れば、総人口の3割強が65歳以上であり、健康保険料の負担も他町村より高くなっている。このような状況の中、町民の健康寿命を引き上げて行かなければならないと思います。ジョギング・ウォーキングなど健康を意識している町民もとても多くおられます。今年の夏のように激暑、冬季の4ヵ月間は外での運動、トレーニングはできません。

そこで要望するのは、多くの町民が平等に利用できる、「町営トレーニング施設」を作って頂きたい。トレーニング機器・フィットネス機器を完備して、一度に少なくとも50人位が利用できる施設をお願いしたい。

健康寿命を延ばし、生活習慣病予防、介護予防につなげ、町民間の交流を図り、地域住民が生き生きとした活力ある、笑顔で集える八頭町づくりへとつながるものと確信するものです。

「町営トレーニング施設」現実のものとなれば、「健康で、長寿の町八頭町」として「魅力ある八頭町」として、全国に誇れる町となり、移住・定住者も増加、付随した商産業も生まれてくる事が見込まれるのではないのでしょうか。

ぜひ「町営トレーニング施設」の早期実現を、強く望むものです。

質問 7、町長・町議会に質問・要望

鳥取県知事・鳥取県議会・八頭町議会・八頭町民と多くの人を巻き込んでしまったこの状況は、とても異常なものです。多くの町民が疑心暗鬼・人間不信となりつつあります。これが町政でしょうか？

このような状況にしてしまった町長・町議会・行政にとっても不信感を感じております。町長に就任された時の所信表明はどこへ行ったのでしょうか。町議の方は、何を根拠に賛成・反対をしておられるのか？6月の議会報告の賛否の意見を見ても幼稚な意見での発言。何の調査・研究もせずに妄想・タラ話・・・恥ずかしくないのか！！

町長は知事・県議の顔色を窺うのではなく、町民の為に・八頭町の為に町政の舵をとって頂きたい。

町長辞職・町議会解散・行政人事再編を八頭町民に問うてみて頂きたい！